［減損の兆候が認められた固定資産］

・固定資産の概要

（単位：千円）

用　途	種　類	場　所	帳簿価額
職員宿舎	土　地	中川職員宿舎２号棟 （長崎県長崎市中川所在）	145,000
職員宿舎	土　地	立岩職員宿舎 （長崎県長崎市立岩町所在）	23,827
職員宿舎	土　地	平野町職員宿舎 （長崎県長崎市平野町所在）	43,400

・減損の兆候の概要

中川職員宿舎２号棟、立岩職員宿舎、平野町職員宿舎の土地は、施設を廃止したことに伴い、遊休状態が継続しております。

・減損を認識しなかった経緯

不動産鑑定士による鑑定評価額から処分費用見込額を控除して回収可能サービス価額（正味売却価額）を算出したところ、帳簿価額を上回っているため減損を認識しておりません。

（重要な債務負担行為）

令和６年度においては特筆すべき事項がありません。

（金融商品に関する事項）

金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については預金、国債、地方債及び政府保証債及び金銭の信託等に限定し、資金調達については、大学改革支援・学位授与機構からの借入れに限定しております。

資金運用にあたっては、文部科学大臣より令和４年12月23日に国立大学法人法第33条の５第１項各号の認定を受け、国立大学法人法第35条の２が準用する独立行政法人通則法第47条及び国立大学法人法第33条の５第２項の規定に基づき、公債及びＡ格以上の社債及び金銭の信託を保有しております。なお、当該運用資産は、金利や為替の変動による市場リスクや信用リスク等を包含していますが、資金運用細則に基づき適切なリスク管理を実施し、資金の運用状況や管理運用業務の実施状況を監視するために設置された資金運用管理委員会に報告しています。また、未収附属病院収入は、債権管理規程に沿ってリスク管理を行っております。

長期借入金の使途は附属病院の整備資金であり、文部科学大臣の事前承認に基づいて借入れを実施しております。

金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

また、現金は注記を省略しており、預金、未収附属病院収入、未収入金、未払金及び短期借入金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額（＊１）	時価（＊１）	差額（＊１）
⑴　投資有価証券及び有価証券 満期保有目的の債券	1,097,422	950,805	－146,617
⑵　金銭の信託	2,979,311	2,979,311	―
⑶　長期性預金	500,000	357,408	－142,591
⑷　長期借入金（＊２）	(16,798,975)	(16,052,438)	(－746,536)
⑸　長期未払金（＊３）	(3,044,274)	(3,169,509)	(125,235)

（＊１）負債に計上されているものについては、（　）で示しております。

（＊２）長期借入金には、一年以内返済予定長期借入金を含んでおります。

（＊３）長期未払金には、リース債務に係る未払金を含んでおります。

注）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の三つのレベルに分類しております。

レベル１の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル２の時価：レベル１のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル３の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

時価をもって貸借対照表計上額としない金融資産及び金融負債

（単位：千円）

	時　価（＊１）			
	レベル１	レベル２	レベル３	合　計
⑴　投資有価証券及び有価証券 満期保有目的の債券	950,805			950,805
⑵　金銭の信託		2,979,311		2,979,311
⑶　長期性預金		357,408		357,408
⑷　長期借入金		(16,052,438)		(16,052,438)
⑸　長期未払金		(3,169,509)		(3,169,509)

（＊１）負債に計上されているものについては、（　）で示しております。

⑴　投資有価証券及び有価証券

国債及び社債は相場価格を用いて評価しております。これらは活発な市場で取引されているため、その時価をレベル１の時価に分類しております。

⑵　金銭の信託

金銭の信託は、取引金融機関から提示された価格を用いて評価しており、レベル２の時価に分類しております。

⑶　長期性預金

将来キャッシュフローを円のスワップカーブを用いて割り引いた現在価値と内包されるデリバティブの時価評価により算定しており、レベル２の時価に分類しております。